

折に触れ 四字熟語

NO. 88 〔風雨淒淒〕 ふふう せいせい

< 意味 > 風雨が激しく、寒々としてわびしいさま。世が乱れて悪がはびこっているたとえとして用いられることもある。

出典：「詩経」鄭風・風雨

語釈：「淒淒」は寒々としたさま。寒く冷たくてわびしいさま。

表現：風雨淒々として寝つかれない夜。

一言：風雨シリーズ その2

都内では昨夕も雨が降りました。まだ「淒々」という季節ではありませんが、上がったあとひんやりするほど夏の嵐らしく激しい雨でした。

参照文献：三省堂・新明解「四字熟語辞典」